

中山間水田における畦畔法面の省力管理技術

技術の概要

イブキジャコウソウで畦畔法面を被覆して管理を省力化

栽培ごよみ	1年目(定植年)						2年目以降
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
内容		除草	定植			シート除去	基本的に管理不要 必要に応じて除草

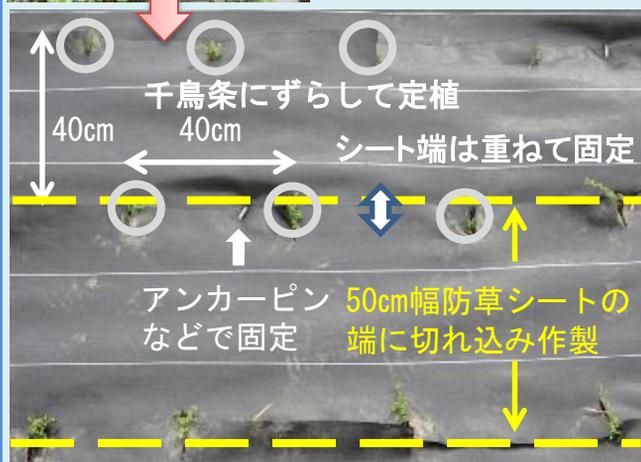
イブキジャコウソウ とは

日本に生育する唯一のタイム。低木で、爽やかな芳香が特徴。一般に草丈は10~20cm、地表を這うように伸長する匍匐性の植物。

(但し湿潤土壌は不適)



- ①除草 (定植前に除草剤散布)
- ②定植
防草シート設置 (50cm巾)
40cm千鳥状移植 (適期6月)
- ③シート除去 (9月)



期待される効果

被覆後は、他の雑草の発生を抑制し、畦畔法面の草刈等の管理作業が省力化できます。また、開花期には景観形成の効果も期待できます。

イブキジャコウソウの植生を維持するため、1~2年に1回程度上部の刈り込みが必要です。

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
(東北農業研究センター) TEL:019-643-3540